

令和 6 年 7 月 30 日

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価
(令和 6 年度分)

(あて先) 川西市長

所在地 兵庫県川西市滝山町 7-7

法人名 特定非営利活動法人
川西市手をつなぐ育成会

代表者名 白川 清彦

上記の件について、下記及び別添のとおり提出します。

記

1 報告・評価シートを提出する事業所

事業所番号	事業所名	新規
2823100090	地域生活支援かわにしホームたきやま	

※今年初めて提出する事業所については、新規欄に○をつけてください。

2 本件に関する連絡先

担当者名	松澤 知明
連絡先	TEL:072-786-9244 mail:ikuseikai4006@jcom.zaq.ne.jp

報告・評価シート

【報告日 令和 6 年 7 月 26 日】

【評価日 令和 6 年 10 月 4 日】

事業所名 地域生活支援かわにしホームたきやま

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名		特定非営利活動法人川西市手をつなぐ育成会			人員配置	日中				
	指定日		H25 年 10 月 18 日				世話人		生活支援員		
	所在地		兵庫県川西市滝山町 7-7				3 人		人		
	定員数（共同生活援助）		15 人				（常勤換算後）		（常勤換算後）		
	定員数（短期入所）		3 人				3 人		人		
	共同生活住居数		3 戸				看護職員の配置		☐ 有 ☒ 無 人		
	【住居の内訳】			【定員数の内訳】			夜間				
	住居名：たきやま 1			6 名			世話人（夜間）		世話人（夜間）		
	住居名：たきやま 2			6 名			3 人		3 人		
	住居名：たきやま 3			6 名			（常勤換算後）		（常勤換算後）		
	住居名：			名			3 人		3 人		
	住居名：			名			看護職員の配置		☐ 有 ☒ 無 人		
	事業所の特色・独自の取組										
	2 利用者状況 (令和 6 年 7 月 26 日 現在)	障害支援区分		人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
非該当		人			身体	総 数：		人			
区分 1		人				主に日中 GH で過ごす人数：		人			
区分 2		人			知的	総 数：		15 人			
区分 3		2 人				主に日中 GH で過ごす人数：		5 人			
区分 4		5 人			精神	総 数：		人			
区分 5		7 人				主に日中 GH で過ごす人数：		人			
区分 6		1 人			難病等	総 数：		人			
合計		15 人				主に日中 GH で過ごす人数：		人			
年齢構成		・ 6 0 歳以上 1 人 ・ 5 0 歳代 4 人 ・ 4 0 歳代 4 人 ・ 3 0 歳代 4 人 ・ 3 0 歳以下 2 人									
障害特性等		医療的ケアの必要な者 0 人 強度行動障害のある者 1 人									

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
3 地域に関わられた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 (15) 名中 (5) 名		
	実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 0名・ボランティア 0名 (受入事例) 実習生の希望があれば受け入れ可能。ボラについてはボラセンにてボラの種類、内容について情報収集中。	<要望> 前回報告時も共に実績がゼロであったと記憶しており、あくまで待つというスタンスではなく、もう少し積極的かつ具体的なアクションが見えてくれば大変、ありがたいです。 <要望> 福祉人材の育成、確保の観点から、積極的に実習生等の受入れに取り組んでいただきたい。	
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 滝山地区自治会案内板にて夏休み中の行事を確認。	<要望> 来年度の義務化を見据え、地域連携推進会議の構成メンバーに事業所を見学して頂く機会についてもご準備・検討頂きたい(外に出ていくアプローチと同時進行で来所して頂くアプローチにて交流と透明化を図って頂きたい)。 <要望> 地域のまつりや避難訓練等に参加し、地域住民との交流機会を増やしてく	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
			ださい。	
4 常時の支援 体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 土日の日中支援の職員は確保し、シフト表にも記載。		
	災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 年2回の避難訓練を実施 警備会社による初期消火訓練の実施 地震、火災、台風は終了。土砂、情報被害が未整備。	<質問> 未整備の項目に関しては、いつまでに整備予定なのかを教えてください。 <評価> 計画的に訓練を実施されており、利用者や家族の安心感につながります。	<回答> 川西市のハザードマップを参考に、土砂被害の想定を確認し、整備中。令和6年度中に策定終了予定。
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等)) 緊急連絡先等の周知し、管理者等への迅速な報告により、次の対応を取っている。	<質問> 緊急時対応マニュアルは、作成されていますか。対応ルールはどのように職員間で共有されていますか。	<回答> 緊急連絡網は整備済み。平時よりラインワークスを活用し、瞬時の情報共有を行う。
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) 味付け温度等、ご利用者様の健康状態に配慮して食事提供を行っている。ふりかけやドレッシング等は、好みのものが選択できるように準備している。		
5 短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 3名 市に対して地域生活拠点等の整備に係る届出を行っている。		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	（緊急受入人数） 3名 （緊急受入事例） ・母親による虐待からの一時避難 ・別 GH 退所後の一時受入 ・夫婦喧嘩による警察からの受入要請 市外からの受け入れも可能。	＜評価＞ 地域生活支援拠点として、ホームたきやま3が整備されています。緊急時の一時受入れのみならず、日中活動の場である生活介護、相談支援も一体的に提供できるよう開設しています。 当該施設は、施設からの地域移行の促進並びに障がい者の地域生活支援の中核的な役割を担うことができるよう期待しています。 ＜評価＞ 地域生活拠点としての役割を担って頂き、地域の重要な社会資源になっている部分は、とても高く評価される事だと思います。	
6 支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	（外出や余暇活動等の事例） 歩行活動（近隣の散策） 昼食の買い物等 利用者からの要望で布団や衣類の購入に職員をつけて、買い物に行っている。		
	支援の質の確保に努めているか。 （研修等）	（参加した研修名等） 虐待防止研修 （22）名 てんかん勉強会 （16）名 衛生管理と食中毒予防研修（19）名 SST 研修 （1）名	＜質問＞ 研修を通して、職員の意識変化があった点を教えてください。また、これらの研修を踏まえ、改善したことがあれば教えてください。	＜回答＞ 虐待委の範囲において、身体的虐待ばかりが注目されているが、利用者の生活状況を見て、金銭的虐待（年金の使い込み）を危惧する職員の発言があった。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 0名 (体験利用の事例) 体験利用の希望があれば受け入れる。		
	改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) 人員不足(パートが9割) (利用者・家族からの意見・希望) 親が元気なうちは自宅に帰り余暇を家族で楽しみたい。 医療的ケアをしてもらいたい。 (改善や取り組み) サービスを利用して通院をしていただく方や訪問介護を利用させていただく方もあり、グループホームに来ていただいている。	<質問> 人員の確保で法人が行っている取組を教えてください。	<回答> 一般の募集広告以外に、人材派遣会社並びに人材紹介会社などと契約し、人材を集めている。
7 利用者の権利擁護等への配慮について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。 また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) 帳簿あり(後見人用、施設用2部) 金庫等で管理している。 (成年後見制度の利用支援及び利用者数) ・利用支援事例等(☑有 ☐無) ・有の場合の支援内容記載(利用者数1人)		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み) 個人情報の管理方法や性別に応じたプライバシーの配慮などについては、居室に鍵があるのが一般的である中、たきやま3には鍵が付いているが、たきやま1・2には鍵がないため、設置の方向を検討している。 ご家族のご希望や、できる限りご利用者様に自己決定していただいている。	<要望> 利用者の権利擁護等を配慮し、利用者や家族等の同意のうえ、適切に対応いただきたい。	
	虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) R6.3.27 虐待防止研修会(法人内各事業所合同) R6.11月頃にも開催予定 (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 発見した場合は管理者に報告し、通報するように指導している。 月ごとの各事業所職員会議の開催	<要望> 虐待発生時の要因は、様々で支援員の障がいに対する理解不足、人員不足により職員の支援疲れ、支援員同士のコミュニケーション不足などがあり、計画的に研修を実施していくことは大変重要です。今後も継続して実施し、支援に行かせるようお願いします。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
		(情報収集・周知) 3ヵ月ごとの虐待防止委員会の開催 (情報共有・検討) 内部通報体制については、管理者に メールやラインを利用して通報が できるようにしており、虐待を通報 しやすい体制作りに努めている。	<評価> 通報に関して、様々な手法を検討して いるところは、とても高く評価される 事だと思います。	
8 入居/退去状 況について	報告/評価対象年度中 において、退去理由の 確認及び入居時に適 切な判定(流れ)が行 われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 15人 (報告・評価対象年度の退去者数及 び事由) ・退去者数 0人 ・主な退去事由: ・主な退去事由: 退所後の行先調整は、地域移行サー ビス担当者と連携し行っている。		
9 他の日中活 動サービスの 利用	G H内でどのような 日中サービスを提供 しているか。	(日中をG H内で過ごす利用者に 対する支援・サービスの提供) 体操(ストレッチ、ヨガ等) 施設内外の維持管理(掃除、花壇の 水やり等) 歩行活動、音楽活動(カラオケ)、各 種ゲーム等		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	（他の日中活動の利用状況） 他の日中活動サービスを利用（15）名中（15）名 （主な他の日中活動サービス種別・利用先） 生活介護・地域生活支援かわにし生活介護事業所2名 生活介護・ハピネス川西4名 生活介護・福祉作業所りんどう2名 生活介護・小戸作業所2名 就B・小戸作業所3名 就A・ジャスワーク1名 一般就労1名 週末の外出時は、移動支援等の外部の社会資源を利用して確保している。	<評価> 可能な限り、個々の希望や状態に応じて多様な日中活動を進めており、とても高く評価される事だと思います。 <追加質問> 週末の過ごし方について、【報告・評価シート】2ページ利用者状況内訳に、主に日中GHで過ごす人数が5人になっているが、当項目で他福祉サービスの利用をされている人数15名中15人となっていることと、評価会当日の口頭説明では、日中GHで過ごす人は0人と報告されていたがその差を教えてください。	<回答> 週末の過ごし方について、日中どなたも居ないとお答えしたのは、間違いでした。 平日の日中に関しては、皆様（14名）作業所へ通所されているので、不在です。また、一般就労されている方（1名）についても安定した就労。状況ではない時期もあり、生活介護事業のサービスを取りました。話は戻り、週末の5名の方の日中支援については、5名共 居宅介護や移動支援のサービスを受けており、日中外出も自由ですし、ホーム滞在も可能な状況です。散髪が困難な方は、理容出張サービスの手配をしました。
10 利用者の健康管理	日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	（医師や看護師の訪問有無及び頻度） 医師や看護師の訪問は無し。 （健康チェック方法について） 検温、排便・排尿の有無や頻度、身体の傷等の有無	<質問> 医師や看護師の訪問はなしということですが、利用者の健康管理はどのようにされているのか教えてください。	<回答> 日中作業所で行われた健康診断結果を基本情報とし、家族との通院結果、日々のバイタルチェックを行っている。通院必要な状態を家族に依頼、又は通院介助を利用している。
11 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況の事例について） 相談支援事業者 ・ケース会議等で情報共有 ・体調不良及び不穏時の対応相談（カンファレンス・電話等） 他サービス事業所		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
		・個別連絡帳にて日頃の様子との共有 ・日常的に日中夜間にご利用者様の課題の電話		
12 その他	<独自に定める項目を記載>			
13（2回目以降）協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	（要望・助言の内容及びその対応） 家族会を年に2回行い、家族からの要望を聞く機会を設ける。	<質問> 共同生活援助における支援の質の確保のため、令和6年度の報酬改定において、「地域との連携等」が新設され、各事業所に「地域連携推進会議」の設置を令和6年度から努力義務化、令和7年度から義務化されることとなっています。地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れる取組を行うことで、支援の質の確保をめざしていくこととしています。貴法人の今後の対応をお聞かせください。 <評価・要望> ご家族のご要望を聴く機会を設けていることは大切だと思います。次は、ご本人のご要望や希望を聞く機会の創出もご検討ください。	<回答> まずは、第3者委員にホームを訪れていただき、利用者との対話を通じて利用者の気持ちや考え方を理解していただく。コロナで中断していたライオンズやボランティアと行っていた餅つきを、できれば復活したいと考えている。この餅つきには近隣の人も自由に参加できる状況で行っていたので、ぜひ復活させたいと考えている。

現在入居中 20 名の支給決定権者

- ・ 15 名全員が川西市